

令和 2年 7月期 (第71回) 番組審議会 議事録 (抄)

開催日時 : 令和 2年 7月16日 (木) 午後 7時から 7時54分まで

開催場所 : 京都府京丹後市峰山町丹波825番地の1
NPO法人京丹後コミュニティ放送 1階事務所内

委員の出席 : 委員総数 7名

出席委員数 : 7名

欠席委員数 : 無

放送事業者 : 2名

側出席者

開会

事務局から令和2年度第1回目の番組審議会の開催宣言の後、理事長から会議開催にあたり、新型コロナウイルス感染症、拡大防止対策として座席の配置の説明のあと、現時点でいつまで続くかわからないコロナ渦の中、お世話になっている方々へ恩返しをする意味を込め、色々な状況におかれている方々のお話を聞きながら、伝え、皆さんと一緒に地域を盛り上げていけるような環境づくりをしていきたい旨の挨拶がなされた。

次に、出席確認と、先に活動報告がなされた。

次に、理事長から委任状の交付がなされ、会長、副会長の選出について、立候補を募ったがなく、局からの推薦として、会長に中村基彦氏、副会長に安田秀俊氏にお願いをしたところ本人の承諾を得て、異議なく満場一致で承認された。

次に、本日の議事録署名人として、安田秀俊氏と川村康好氏に依頼し了承が得られた。

続いて審議に入る。

意見交換会

・ニュースの読み方について

局から説明

本年度の事業計画の中に、ニュースの読み方の強化を掲げております。リスナーからも上手に読んでください等の意見もいただき、どう読めば伝わるのか悩んでいる。現在6名がニュースを読んでいます。それぞれ特徴があります。

・ニュース音源視聴 (パーソナリティ6名)

(委員) 聞く方に見れば、一般的なラジオやテレビで見たり聴いたりしているアナウンサーと、どうなんだろうという風に考えることもできますが。

(委員) 内容はその日の新聞のものだけを言っておられるのですか。原稿があるんですか。

(局側) ニュースは朝の番組内とお昼と夕方の番組内の3回です。読売新聞のニュースを受信していますので、その中からパーソナリティ本人が選んでいます。ニュースの長いものもありますので、要点だけをまとめて短くして読むこともあります。その作業をそ

れぞれしています。

(委員) 要点をまとめてとは、言葉の言いかえもあるのですか。

(局側) それは一切ありません。

(委員) 中味をカットするということですね。

(局側) そうです。明らかに文章としておかしいところは、直す場合もありますが、ほぼそのまま使用します。

(委員) ニュースの時間は限られていますか。

(局側) お昼のニュースのみ3分間です。朝と夕方は3分をめぐりに決めていません。

(委員) 読むスピードは、テレビのニュースとかと違いはあるのか。

(局側) どちらかといえば、ゆっくり読んでいます。リスナーの年齢層も考慮し、ゆっくりにしています。BGMもありますので、早く読むと何をいつているのかわからなくなる、伝えることが大事だと考えます。また、ゆっくり読むことで、間違えがない、つまらずに読むことに繋がると思います。

(委員) アナウンサーとしての訓練は受けていないのか。

(局側) 教育はしていません。

(委員) 聴いているとわかります。聴きやすさを求めるなら訓練した方がよい。それぞれの特徴がでるのはよいと思うが。

(委員) NHKのアナウンサーのレベルを求めるわけではないですが、聴き取りやすい、速さや、間延びしない、さ行をはっきり言う、文節でどこできいたら有効な記事かなどがあると思います。6名の中でも聴きやすいかたは、そういうことができているので聴きやすいと感じるのか、そういう頭で聴くからか、慣れているからか、わからないですが。その他アルファベットの発音が聞き取りにくいところがあったと思います。個人的には聴いていて落ち着く声の方がおられます。

(局側) さ行は、難しいです。

(委員) 記事が長いと感じました。たまたまなのかわかりませんが。

(委員) 記事を読むことが得意ではないかたもおられますね。聴いていてそう思いました。

(委員) 普段の番組のしゃべりは、良い感じですが。

(委員) 普段の番組とは違い、ニュースをみんなに聴いてもらう、ニュースを伝えないといけない、となると、切り替えてしゃべっておられるとは思いますが、どうなのかと思います。

(局側) 当初から比べると上達したと思います。受け止める方によっては、さまざまで、素人さがよいと言われる方もおられますが、裏を返せばもっとしっかり読んでほしいということなのでしょう。それぞれ特徴のあるパーソナリティで、聴きやすい声などありますが、直せるところはと思うのですが。

(委員) アナウンサーとパーソナリティは別で、そういう考え方をもってもらわないといけないのでは。

(局側) ニュースは未だに悩みます。ニュースを読んだ後に難しいなといつも思っています。

(委員) 緊張して間違えないようにとか思うとよけいに。

(局側) 間の取り方が違うと伝わらないと思いますし、これがどういうニュースなのかを読み込まないと伝わらない。

(委員) 準備も大変ですね。

(委員) 聴き取りやすいしゃべりかた、話し方と言うこととは違い、ゆっくり話す方が聞き取りやすいことはある。ローカルな放送なのでローカルな部分でやっていってよいのでは。あまり求めすぎると。パーソナリティそれぞれが、こういうしゃべり方をされるということで、内容が伝わらないとは思わない。長文をはしょって読むのはすごく難しいことなんだと、ニュースの重要な部分をまとめて時間内に読むことも大変なんだと思う。

(委員) それぞれのパーソナリティが読むからには、何割かは個性が出ると思う。それはいいことだと思う。ゼロにしてしまうのは不可能で、そこまでやる必要はないと思う。ニュースらしい雰囲気をかもし出すことがいいと思う。やはり個性が残るのはやむをえない。悪いことではないと思う。それを言うなら、専任の人を置くしかない。

(局側) 皆にも挑戦してもらいたい、レベルアップしてもらいたいという思いで任せるようにしました。

(委員) 読みのスピード的には問題ないと思います。

(委員) それぞれの個性なのでいい。

こんな時期ですが、募集をかけてボランティアの講習会をしていただくのも。ニュースということではなく、上手にしゃべりたいなと思ってる方はおられると思います。参加したい方に番組に出てもらうのも。

以上、意見有 (抜粋)

審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

特になし

審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、放送及び年月日

① 当局事務所内に掲示

② 当局ホームページ <http://fm-tango.jp/> に掲載

その他参考事項

特になし